

# 架け橋

「社会教育士」は、社会教育主事講習等規程の一部改正によって令和2年度から始まった制度です。このロゴは支える学びの先にある多様な人々が連携・協働する様子を表しています。

社会教育における学びは、色も形も違う人と人、組織と組織などを、色も形も多様なまま、つながりを作っていきます。



社会教育士

**注目!**

お手元に届きましたか?

地域連携教員・社会教育主事有資格教職員向け

【上都賀版】「地域とともにある学校づくり」推進のための

## 『校内研修トリセツ』



ダウンロードは  
こちらから

上都賀地区では、令和5年度から、全ての小・中学校にコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）が導入されました。上都賀教育事務所では、今後、教職員一人一人がより一層地域との連携・協働に関する理解を深め、「地域とともにある学校づくり」に学校全体で取り組んでいただくため、推進の中核となる地域連携教員・社会教育主事有資格教職員向けに『【上都賀版】「地域とともにある学校づくり」推進のための 校内研修トリセツ』を作成いたしました。

作成にあたりましては、上都賀地区現職教員社会教育主事会様、鹿沼市・日光市教育委員会様、栃木県総合教育センターの協力を得て、管内の社会教育主事有資格教職員及び地域連携教員のアイデアを集結いたしました。

内容は、「第1章【基本編】」「第2章【プログラム編】」「第3章【アイスブレイク編】」の3編で構成しています。本書が、校内研修の機会を活用され、各校において「地域とともにある学校づくり」を推進する上での一助となりますことを期待しております。

### 『校内研修トリセツ』作成委員会(①9/16 ②12/15)の様子



学校運営協議会でも使えるプログラムは、助かるかもね。



若い先生たちにも気軽に地域との連携活動にチャレンジしたいな。



そもそも、コミュニティ・スクール自体が何なのか、理解できていないんじゃない？


4月の始めの準備は前年度からやらないか。



自治会長さんに、いろいろにやってみようかな？



## こんな連携・協働があります！

 **鹿沼市立図書館**

鹿沼市立図書館 検索

☎0289-64-9523(本館)  
☎0289-85-2259(粟野館)  
☎0289-63-4646(東分館)

〈連携・協働場面(例)〉

- 各教科の学習
- 社会科・生活科
- 総合的な学習の時間 等



(写真:鹿沼市立図書館 HP より引用)

### こんな活動をしています

#### ①学校への図書の貸し出し

・KLVの皆さんや学校図書館支援員さんを通して、授業で使う本を各市内図書館から貸し出しています。

#### ②生活科・社会科見学

・バリアフリー施設(点字表示等あり)として、見学することができま。

#### ③YA 図書コーナーの貸し出し

・中学生や高校生をはじめとする大人と子どもの境目である「YA世代」に紹介するため、YAコーナーを設置しています。

#### ④「赤ちゃんタイム」の実施

・乳幼児を連れた方でも気兼ねなく図書館を利用できる時間帯が設けられています。

### ギャラリー“図書館”!?

鹿沼市立図書館では、本を借りるだけでなく、子どもたちの作品等を展示する「ギャラリー」として、学校などの団体がスペースを活用することができます。展示パネル等を利用し、館内の展示スペースに絵画・服飾・書道など、作品を展示することが可能です。まずは、どのような形で利用したいか、展示期間はどれくらいか等、事前に連絡を入れ相談してください。学校内外の様々な人に見てもらえるよい機会となるでしょう！

## 首都の護りに従事

事務職員の仕事をする前は、警視庁の警察官として、交番や機動隊で勤務していました。

地域の集会所で防犯の話をしたり、保育園で不審者制圧の実演をしたり、お祭りの警備や被災地で安否確認をしたりと、地域と深く関わる仕事をしてきた…と、今更ながら感じています。

社会教育主事有資格教職員には、一人一人、違うバックグラウンドがあり、社会教育への関わり方も、何通りもあると思います。他の方の経験談を伺いつつ、仲間を増やしていけたら、学校の様々な問題解決の切り口が見つかるのではと、わくわくしています。

上都賀地区内の社会教育主事有資格者の仲間を紹介します♪



私は二刀流  
鹿沼市立上南摩小学校  
宮澤 健太郎 主任



事務職員

私は、上南摩小学校で事務職員として勤務しています。学校だよりの回覧のお願いや、様々な学校支援ボランティアの方々が来校した際の接待等で地域の方と関わることがあります。社会教育主事講習の受講後は、地域の方に「また学校に顔を出そうかな」と思っていただけのように、効率だけを考えるのではなく、事務的な作業でも、常にその先にいる人のことを考えて取り組むようになりました。

まだまだ未熟ですが、地域と学校をつなぐきっかけを作り出せれば嬉しいです。

## こんな風に進めてみました！学校運営協議会

日光市立小来川小学校  
片桐 亘博 教頭

今年度4月から学校運営協議会制度がスタートしました。教頭である私自身が、この制度について十分に理解できないまま迎えた第1回は、無事に終了したものの「これでよかったのだろうか」と疑問が残る会となってしまいました。今後の運営の仕方について悩んでいたところ、日光市生涯学習課の「学校運営協議会ファシリテーター応援講座」の案内が目にとまりました。学校運営協議会の会長さんに相談すると、私と同じ思いを抱いていたことが分かり、一緒に参加することにしました。



この講座では模擬学校運営協議会を体験し、会長さんも私も会の流し方についてのイメージをもつことができました。講座終了後すぐに次の進め方について打合せを行い、互いのイメージを形にしていきました。その甲斐もあり、第2回は和やかな雰囲気の中で活発な意見交換が行われ、委員の皆さんの様々な考えに触れることができました。学校運営協議会は、進行の中心となる会長さんと事務的な準備を行う学校が内容や進め方を一緒に考えていくことが大切だと実感しました。

本校は令和6年度末の閉校が決定し、これまで学校があったからこそ形成されてきた多くの方々とのつながりが、だんだんと希薄になってしまうのではないかと危惧しています。しかし、閉校前のこの時期を、

地域と子どもたちの未来を考えるチャンスと捉え、「子どもたちのために何を残していくべきか」について、委員の皆さんと熟議を重ねています。



発行：上都賀教育事務所ふれあい学習課  
協力：上都賀地区現職教員社会教育主事会  
問い合わせ：鹿沼市今宮町 1664-1 TEL.0289-62-7167  
kamitsuga-fureai@pref.tochigi.lg.jp